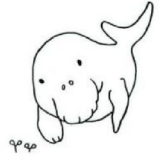


## CONTENTS



- 2 名護市長選挙の勝利へ
- 3 ジュゴン訴訟で建設阻止が可能
- 米国海洋哺乳類委員会年次大会へ参加
- アセス訴訟第2回公判
- 4/5 ジュゴンでトレイン
- 新署名の取り組み
- 7 内閣府、外務省へ要請行動

新年あけましておめでとうございます。ついに待ち望んだ「国際ジュゴン保護年」を迎えました。日本政府に対し、辺野古の海に生息する天然記念物のジュゴンを保護するよう、そしてジュゴンの保護区を制定するように、と働きかける、SDCC にとって大変重要な年になりました。

幸いにも、米軍事産業に支配され続けてきた戦後日本の傀儡政治に、日本国民はようやく「NO!」を突き付けてくれました。昨年9月には臆病で悪しき自公政権から、少し希望を持てる鳩山連立政権を誕生させるに至っています。

そして政権が替わったお陰で、マスメディアの報道も大きく変わりました。自公政権下では、腫れ物に触るように控え目であった日米同盟問題も、これまた幸いにも鳩山総理の不明瞭な態度に対する批判勢力によって、否応無しに普天間基地移設問題と米軍再編問題を、連日各社が大きく報道せざるを得ない状況を生んできました。

このマスメディアの変化を、私達は日本の戦後政治の流れを変える潮目と見なければなりません。SDCC の役割は、竜宮から生まれた新たな平和の潮流を、ジュゴンと共に導くパイロットになることだと思います。

## ジュゴンが主役の年！ SDCC 共同代表 海勢頭 豊

ジュゴンが主役となって「国際ジュゴン保護年」を成功させる！そして10月名古屋で開催する「国際生物多様性条約締約国会議」を成功させる。それをIUCNのサクセスストーリーにする。

この壮大な文脈は、人類を存亡の危機から救うために、努力している人々との連帯を意味します。そして昨年失敗に終わった国連気候変動枠組み条約 COP15 に失望した人々にも新たな希望をもたらすものであると信じます。

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)



短時間でどんどん集まる街頭での新署名集め (5面)



写真展で描いてくれたピースリボン (6面)



# 名護市長選挙勝利で新基地建設を阻止しよう

米軍普天間基地(宜野湾市)の名護市移設費 288 億円が来年度防衛省予算から外された。支出の見込みがはっきりしないので、国庫債務負担行為として計上したと報道されている(12月18日)。11月、12月の沖縄県民をはじめとした闘いの成果です。

伊波宜野湾市長は「グアム統合軍事開発計画」(米太平洋軍司令部作成)と「グアムなどへの海兵隊移転の環境影響評価書」(11月20日発表)について、鳩山内閣が米国政府に説明を求めることを求めています。米国政府がグアムなどを米海兵隊の戦略基地として位置付け、すべての在沖海兵隊を受け入れることも可能であると主張しています。宜野湾市HPに「普天間飛行場問題の早期解決について」(宜野湾市の見解)がアップされています。

伊波市長の要請に岡田外務大臣はなぜか「公式には確認していない」(12月5日)と逃げ腰です。



「グアム統合軍事開発計画に普天間のヘリ部隊移駐もすでに含まれている」(伊波市長 NEWS24)

名護市長選挙(告示1月17日、投票24日)が始まります。12年前の97年12月に名護市民は住民投票で、経済効果が期待できるので基地建設に賛成(条件付き賛成)を上回り、過半数の市民は基地建設反対を選択しました。しかし、当時の名護市長が政府自民党の圧力と利益誘導で基地受け入れを表明して辞任。その後、基地容認市長が当選してきました。今回は、政権交代で普天間基地移設が全国的焦点となり、辺野古への移設が焦点となっています。移設反対派の候補も一本化されて有利な状況です。名護市長選挙に勝利すれば、辺野古への移設計画が破たんします。



「米国のジュゴン訴訟で基地建設はストップできる」との訴訟弁護団の新たな見解(記事別項)をふまえて、「基地ではなくジュゴン保護区を」の運動が正念場になってきています。2010年10月生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)にむけて、国際ジュゴン年にふさわしい闘いを広げましょう。名護市長選挙にスタッフを派遣します。カンパをよろしく願います。

## 展望

# ジュゴン訴訟で新基地建設を止めることはできる

12月2日、国会議員会館でジュゴン訴訟弁護団・籠橋弁護士の緊急学習会がありました。

08年1月、米国サンフランシスコ連邦裁判所は米国防総省が沖縄ジュゴンへの建設工事による影響を検討していないと、国家歴史保護法に違反する判決を出しました。今、沖縄ジュゴン保護についてどのような配慮を米国防総省はすべきかの命令を裁判所が検討しています。

鳩山内閣が普天間基地移設先決定を急ぐ中で、籠橋弁護士講演は辺野古への新基地建設反対を闘う人々に展望を与えるものとなりました。

ジュゴン訴訟で新基地建設を止めることはできると、訴訟弁護団が踏み込んだ判断を出しました。日米地位協定で米軍に提供されている水域に日本政府が基地建設工事をする場合は、米国政府の了解が必要。しかし、ジュゴン訴訟中でもあり米国政府は了解を与えることができないから工事の着工はできないとの判断です。埋め立て工事を進めれば、差し止め訴訟で闘うとのこと。基地ではなく、ジュゴン保護区の闘いを広げましょう。



辺野古 長島より「ウフビシ」をのぞむ

## 報告

## 米国海洋哺乳類委員会(Marine Mammal Commission)年次大会に参加して

沖縄ジュゴンの保護と辺野古への米軍基地建設計画に関心を示してきた米国政府の独立機関、米国海洋哺乳類委員会(MMC)。

その MMC の招待を受けて、米国生物多様性センターのミヨコ・サカシタ弁護士、「ジュゴン訴訟」原告の一人である東恩納琢磨さん、そして私の三人は、09年12月にハワイで開かれた MMC の年次大会に参加し、発表を行いました。訴訟の被告側として米国海軍も招待されていましたが、「訴訟が未決着」という理由で参加を見送っています。

発表ではまずサカシタ弁護士が、08年1月に原告勝利の(中間)判決がでた「ジュゴン訴訟」について説明。

次に琢磨さんと私が、「政権交代」により基地建設計画の見直しの可能性が高まっている状況と、現計画履行を求める国内や米国の圧力について報告をしました。そして様々な問題が指摘されてきた沖縄防衛局の環境アセスについて、三人がそれぞれ言及しました。

また私たちは「MMC としてなにができるか」というに MMC の呼びかけに対して、4つの要請を行いました。サカシタ弁護士からは1)ジュゴンの危機的状況とジュゴン保護のための国防総省の義務を指摘する内容の手紙を MMC から国防総省に送ること。2)国防総省の「国家歴史保護法」の遵守に関する分析に対して MMC がコメントを行うこと。

沖縄側からは3) MMC が沖縄防衛局の環境アセスを科学的に検証し、その検証結果をもとに国防総省に助言を行うこと。4) MMC から国防総省に対して、日本政府と共同で環境アセスを行うように提言すること、という要請です。

MMC は、「あなた方の要請は MMC がこれまで行ってきたことと合致している」として、要請にきちんと対応していくとの回答をもらいました。事実 MMC はこれまでも、科学的専門機関として、そしてジュゴン保護の立場で、米軍に助言を行っています。科学的見知にもとづいた MMC の対応により、この基地建設計画の中止がより現実的になっていくことが期待されます。(吉川秀樹)



MMCでプレゼンする吉川さんと東恩納さん

## アセス訴訟

## 門前払いをねらう防衛省～第2回公判～



発言する山内徳信参議院議員(那覇地裁前)

大雨が降る寒いクリスマスの朝、那覇地裁で第2回公判が開かれました。山内徳信参議院議員が第2次訴訟団代表として、参議院外交防衛委員会での追及を紹介しながら陳述しました。

米国が配備計画しているオスプレイを、防衛省が方法書、準備書に取り上げていないこと、辺野古沖を7時間11分回遊したジュゴンを明記した環境省調査結果を改ざんするなど非科学的な準備書を撤回して環境アセスのやり直しを主張しました。

つづいて、原告弁護団から、国民には環境影響評価書について意見陳述権があること、したがって、被告防衛省は誠実に原告の請求原因について事実認否を行うこと、そして、早急に方法書や準備書を裁判所に提出するように主張しました。防衛省は実質審理に入らずに、環境影響評価制度は裁判になじまないと門前払いをねらっています。鳩山内閣が環境アセス手続きを進めることを決定し、評価書提出の動きがあり公判が急がれる中で、次回公判が3月3日(水)午後2時に決まりました。



# ジュゴンでトレイン!



大阪駅前 陸橋上にて



電車の中でもめだっしまいました



ホームにたたずみました



無事 環状線を一周しました

12月20日「ジュゴンでトレイン!」を開催しました。

集合場所である大阪駅前陸橋は、ビル風で吹きさらしの上に、寒波到来中でじっとしていることが出来ないくらいの寒さでしたが、2頭の着ぐるみジュゴンを先頭にみんなで元気よくアピールしました。テレビで普天間基地移設問題が多く取り上げられていることもあり、反応は上々。一向はそのままJR環状線に乗車し一周します。電車内ではうって変ってサイレントアピール。「何かな?」とこちらに興味を示してくれた人にはチラシを配布しました。着ぐるみジュゴンは脱いでアピールしましたが、何もしなくても大きなプラスチックボードで作ったジュゴンやクリスマス前ということもありサンタ姿などは目を引きました。電車内にとどまらず反対ホームからも視線を釘付!大阪駅前の次はJRの京橋駅に降りて駅前でアピール。ここは日曜日となると、必ずどこかの団体がアピールしている激戦区ですが、私達の活動に理解をいただき独壇場でアピールすることが出来ました。次は天王寺駅前陸橋。ここでアピールするのは初めての試みでしたが若者も多く活気のある場所でした。各場所30分という時間でしたが多くの方から署名をいただきました。SDCCの活動に初めて参加してくれた人は活気ある私たちの活動に楽しく参加できたと喜んでいただき、こちらもうれしくなりました。今回の「ジュゴンでトレイン!」は大成功といってよいでしょう!今回限りと言わず私達のアピールスタイルのひとつとして今後も続けていきたいと思ひます。(上田千鶴)



## 報告

### ☆辺野古新基地反対 京都集会に参加しました



12月12日 京都 洛陽教会で開催された「沖縄辺野古新基地反対 普天間基地撤去をもとめる京都集会」に参加しました。

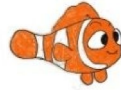
まず、11/8 県民大会の記録映像が上映されました。渡具知さん一家の発言場面で、武龍くんが、がんばって発言しています。「鳩山さんは約束を守ってください!」

続いて、ヘリ基地反対協議会の安次富浩さんの講演。「米国は大きな国だ。普天間基地ひとつ閉鎖したから、辺野古を中止したからといって、どうだというのか!主権者である市民が今声をあげるとき」と訴えられました。

そして衆議院議員の服部良一さんが国会報告。「年内決着」を阻止するため、沖縄選出議員を中心に、永田町でも必死の努力があったこと。本質的な力は沖縄県民の基地反対の世論の高まりであるあること、を強調されました。集会後はデモに出発。先頭にアドバルーンがあがります。京都のメインストリートを歩きました。市民の注目をあびる有意義なウォークでした。 松島洋介



## ☆私の署名活動 首都圏 澤田



私の沖縄への思い入れは、1970年代にさかのぼります。沖縄を野宿しながら旅をしたときに、沖縄の方の暖かさを感じそれ以来沖縄にこだわっています。

私は、2~3ヶ月に一度、簡単な通信を発行しています。友人などに約100通送付し、町内約500軒にポストイングします。この中で、ダイビングショップ、酒屋さん、花屋さん、お寺、美容室など署名を預かってくれる方が増えてきました。嬉しかったのは、ポストイングしていたときに声をかけられ「いつもありがとう」と署名協力してくれたことです。

新リーフレット「ジュゴンってしってる？」は、署名を集めやすくとでも反応が良いです。最近、「基地建設は阻止できる」「ジュゴン保護区を作れる」と確信が持てるようになりました。現在既に、400筆の署名を集めました。5月連休までには何とか500筆に乗せたいと思っています。私は日常生活を犠牲にして活動はしていません。日常生活の中でやれることはやる。その積み重ねが大事だと思っています。2010年国際ジュゴン年を成功させましょう！



## ☆報告 12/15緊急集会 (東京 星陵会館)



「普天間基地はいらない、新基地建設を許さない12月15日緊急集会」が星陵会館で開催されました。集会は、主催者挨拶の後、民主党・平岡秀夫議員、沖縄選出の瑞慶覧チョービン議員が挨拶しました。社民党からは、重野安正幹事長が、防衛省に新たな移設先について十分に検討するよう求めました。名護市長選、県知事選で勝利を手にするには、決定的に重要と訴えました。

沖縄からは、ヘリ基地反対協共同代表の安次富浩さんから、11月訪中時に岡田外相が語った県外移設は狭い道との発言をひきつつ、「狭い道をこじあけるのが外交交渉ではないか」と述べて、鳩山政権に真剣な対米交渉を求めました。

沖縄平和運動センター事務局長の山城さんは、閣僚委の決定について、「政府が今暫く立ち止まっていることに私たちは、大きな勇気と力を得ている。この流れを変えるわけにはいかない。この内閣を支え、今日、3党で協議したことに間違いがないように、決して、ブレることのないように後押しし、しっかり監視していこう」と呼びかけました。

集会を通じて、ジュゴン訴訟で、サンフランシスコ連邦地裁が米国文化財保護法違反の中間判決をだしており、最終判決前には工事着工が出来ないことなどが明らかにされました。2010年が国際生物多様性年であると同時に、IUCNで定めた国際ジュゴン年であるということにジュゴン訴訟を結び付けていきたいと思いました。 首都圏 高橋

## ☆新署名すすむ~2010年国際ジュゴン年にむけて~



2010年 COP10 プレイブントとして、10月16日に名古屋で開催した「サンノ島のコンサート」を出発点に、新しい署名に取り組んでいます。街頭での署名集めのほか、出来る限り講演会、写真展などへ出かけ、あらゆる機会に署名のお願いをしています。民主党政権になってから辺野古の知名度は上がりましたが、移設先がジュゴンの海だということをお話すると、なおさら基地建設には反対だと、署名をして下さる方も多いです。名古屋コンサートで出会った名古屋のグループのほか、郵送で署名を送って下さる個人・団体も増えています。

もっともっと署名を広げるために、インターネットの署名も始めました。署名用紙との重複OKですので、ぜひネット署名にもご協力ください。

来年が本当の意味でジュゴン年になるよう、基地建設を中止させ保護区設置の第一歩を踏み出す年にしましょう。 山根富貴子

☆署名数(1/9現在)

署名用紙 4662筆

ネット署名 日本語版194筆 英語版341筆

インターネット署名 URL

日本語版 <http://www.shomei.tv/project-1384.html>

英語版 <http://www.thepetitionsite.com/1/no-to-military-bases-to-dugong-protection-area>



報告

# 「ワッター海の写真展 大満湾の生き者たち」を開催しました!

11/22～23の2日間、大阪吹田のさんくすホールで写真展を開催しました。すなっくスナフキンさんの約700枚の写真、「辺野古は今」のコーナー、SDCCのコーナーでは「2010年は国際ジュゴン年」をテーマに展示しました。「平和の樹のハンカチ」「有刺鉄線のピースリボン」も集めました。

最近の報道で、辺野古のことを知る人が増える中、辺野古に基地を造るということはどういうことなのか、基地って本当に必要なのかということをしつかり伝えたい、本当のところを知ってほしいと思います。そして、同時にその先のこと、どんな社会を、世界を、未来を創っていききたいのかということと一緒に考えていきたいと感じています。

『基地ではなく 保護区を』というSDCCの取り組みは、とても大きな大切な取り組み!写真展は、保護区を作り守っていききたい辺野古の海の素晴らしさを知ってもらえる場。とても有意義です。今回、朝日新聞夕刊に案内が掲載されたこともあり、ダイビングをする人、海が好きという人、子どもに自然を見せてあげたくてと親子連れ、辺野古の基地問題を知ってというのではない人たちがたくさん訪れて下さいました。子どもたちがたくさん参加してくれたのも印象的でした。

子どもたちの感想がとっても素敵です。ハンカチにイラストも描いてくれました!「わたしは、ジュゴンの写真を見たくてジュゴンが好きになりました。今度はほんものをいっぱいみたいです」(さおり)「海のしゃしんをみて、うめ立てられるのがいやだなと思いました」(のぞみ)「うめ立ててほしくないよ〜!!え〜ん、未来に海がないなんて考えたくないよ〜。おねがだからやめて〜!!」(曜)「今日は来て良かったです。美しい海の写真に囲まれて、子ども達に残していかなくてはいけないと強く思いました。今、大人がすべきことは何なのでしょう」(お母さん)

今、私たちがすべきこと、がんばって続けていきましょー。ー池側恵美子☆ー



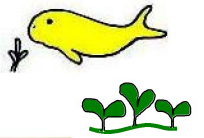
## 毎月15日はジュゴンの日 ♪

改めて発表致します。「毎月15日はジュゴンの日♪」「2010年はジュゴン年!!」

皆さん、今年のキーワードのこの2つ、是非覚えて下さいね。ジュゴン年を盛り上げる為にSDCCと一緒にアクションしませんか? 思っているだけじゃ伝わらない・伝えるためには自分が動いてみなきゃ! とは言っても・・自分に何が出来るの? 自信がない? 「分かります、その気持ち!!」 皆んな最初は同じです。SDCC関西はとてもパワフルで毎週末アクションを行っています、同志ながらいつも感心し報告を楽しみにしています。首都圏も浪速流を見習っていきましょうね。それから地元沖縄でのボランティアを大募集しています。ひとりでも多くの人が今年のジュゴン年をきっかけに活動の一步を踏み出せるようにスタッフ一同頑張ります。まずは事務所でのミーティング参加やイベントのお手伝いに来てみて下さい。一緒にジュゴン折り紙も折りましょー。今年1年を、毎月、毎日を大切に♪ 今年も宜しくお願ひ致します。ー小平ー

報告

# ☆内閣府・外務省へ要請行動



鳩山内閣が普天間の移設先の決定を急ぐ12月7日、名古屋の不戦ネット、命どう宝、NO BASE 辺野古メンバーとともに、内閣府、外務省への要請行動を取り組みました。また、与党3党、共産党国会議員37人にも要請しました。

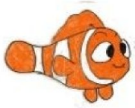
提出した「普天間基地の即時閉鎖と沖縄・辺野古地区への新基地建設の白紙撤回および地位協定の見直しを求める緊急署名」には55団体、435人が賛同しました。

内閣府では沖縄政策責任者の原田統括官に要請書の提出をふまえて、宜野湾市が提言している「普天間基地のグアム移転の可能性について」質問しました。回答は、「米軍が公式に検討していることは知らない。第1義的には、外務省・防衛省の所管です」と回答しました。

外務省でも西村政務官に同じ質問をすると、「移設先などについては内閣全体の判断になる。検証は日本だけではできない。米国の協力がなければ困難」との回答でした。



# ☆風人の祭り・沖縄・に参加しました!



報告



SDCCが初出店でした。ジュゴンの手作りグッズ販売と、ジュゴン保護区をつくるために、辺野古埋め立て反対の署名を集めました。来客者の方々は地元沖縄のこととあり、ジュゴンの話に興味を持って頂けました。その中でも1番心に残っている出来事は、幼稚園位の2人のかわいい男の子、女の子でした。ジュゴンの折り紙をあげると「ジュゴン可愛いから、会場 みんなにあげたい」と自主的に配ってくれ、あっというまに100匹程のジュゴンが会場に広まりました。

『ジュゴンが可愛いから』この言葉がとても心に残り、子供の素直な心と行動に感激しました。きっとジュゴン折り紙を手にしたお客様の心にも感激が生まれたことでしょう。ジュゴンはみんなを幸せな心にしてくれる存在なんだ。新めて実感させて頂いた祭りでした。～仲村～



# UNEP作業部会が沖縄で開催

2009年11月27、28日、UNEP(国連環境計画)の「環境規範と軍事活動に関する国際市民社会作業部会」が沖縄国際大学で行われました。

これは2010年から始まる平時における軍事活動の環境影響に関する世界調査に市民社会側の関与を促進するため、これに先立つ政府間会議(2009/12/10-11、ジュネーブ)の場に市民社会側からの問題提起や対策案等の情報を提出することを目的とし、軍事施設に対する環境監視・浄化の制度や施設建設にあたり計画段階からの影響評価などを求めるメッセージが採択されました。

生物多様性条約の事務局でもあるUNEPが、IUCN勧告「2010年におけるジュゴン保護の推進」にどのように動いていくかにも注目していきたいものです。



UNEP 作業部会(沖縄国際大学にて)  
— 琉球新報より —

## 次回IUCN総会が濟州島に決定!

☆次回2012年のIUCN総会、世界自然保護会議の開催地がお隣の国、韓国の濟州島に決定しました。世界遺産、ハルラ山をはじめ多くの豊かな自然と、そして凄惨な歴史をも持つ地です。この機会に是非訪れてみたいものです。

## ★ 名護市長選挙カンパのお願い

普天間基地の移転先について、連日マスコミが騒いでいます。政府与党三党による移設先作業部会も始まりました。このような中で、名護市長選挙が1月24日(告示17日)に行われます。名護市民は「新たな基地はいらない」公約を掲げた保守系候補を擁立して、現市長との一騎打ち選挙となっています。

SDCCも代表派遣など現地支援に取り組みます。カンパをお願いします。



郵便振込口座  
00140-9-660199

市長選看板—写真: 東恩納氏  
「選挙カンパ」の明記を。

## ★子ども向けリーフレット 「ジュゴンってしてる？」が大人気!

新しいカラーリーフレット「ジュゴンってしてる？」が大人気! 街頭で配布していても皆さんどんどん手に取って下さり、大きく広がる予感です! リーフレット送付希望の方は、下記事務所にご連絡ください。(送料負担で無料配布)

## ★「平和の樹」へハンカチを送ろう!

地元で活動を続ける渡具知さんからの呼びかけです。チラシを同封しますので、ぜひご協力を。

## ★一筆箋「ジュゴンの伝言」発売中!

1冊200円で好評発売中です。同封のチラシを見て申し込んでください。

### Editor's Note

元日に沖縄の久高島を訪れてきました。沖縄発のピースウォークがスタートしたのです。ウチナーンチュウはあっても滅多なことでは足を踏み入れることのない神の島。新年の幸先を伝えるような晴天のもと、カペールの浜から見る東の海と海上の島々の姿に古代の人々の営みを想うかべ、新鮮な感動を覚えました。今年はジュゴンにとっても良い年になりますように…。(U)



ジュゴンちゃんぷるニュース VOL.48 2010年1月12日発行  
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)  
Tel/Fax 03-5228-1377 〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2-1  
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内  
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)  
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302  
TEL/FAX 06-6353-0514

